

## 《課題名》

RTGCS(Robson Ten Group Classificaton System)による我が国の帝王切開率についての検討

## 《研究対象者》

2013年1月から2018年12月の間に分娩となり、日本産科婦人科学会周産期委員会作成データベースに登録された症例。

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、日本産科婦人科学会周産期登録事業ならびにそれにより得られた周産期登録データベースを用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。なお、この研究は個別に同意を頂かずに、通知・公開を行うことで実施することが国の指針によって認められています。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：RTGCS(Robson Ten Group Classificaton System)による我が国の帝王切開率についての検討

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 小野哲男

### (2) 研究の意義、目的について

#### 《研究の意義、目的》

我が国における帝王切開術の現状、特に経年的な変化について、ロブソン分類を用いて明らかにすることを目的といたします。それにより、我が国の周産期医療・医学レベルの更なる向上につなげることが本研究の意義です。

### (3) 研究の方法について

#### 《研究の方法》

ロブソン分類に従い、全ての分娩を、5つの項目(分娩歴、陣痛発来の有無、胎位、胎児数、妊娠週数)で10に分類します。分類ごとの帝王切開率の経年的な変化について、検討を行います。同様のことを各施設規模ごとにも行い、経年的な変化に対する施設規模による影響も検討します。

多施設共同研究であり、作成した論文について、この分野の第一人者である三島総合病院松田義雄先生に助言を頂きます。その際には、論文本文や、論文発表のための図・表については提供しますが、一般的な情報については提供しません。

#### **(4) 個人情報の取扱いについて**

##### **《個人情報の取扱いに関する記載》**

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は使用しません。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

#### **(5) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

#### **(6) 研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

#### **(7) 問い合わせ等の連絡先**

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 小野哲男

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2267

メールアドレス： tetsuono@belle.shiga-med.ac.jp